



江別のみなさん、こんにちは。
 7月です！夏になりました。
 これから暑い季節になります。
 ちょっとした運動でも水分補給が大切になります。
 これからの庭仕事には十分注意して、脱水を起こさない様
 適度な休憩を入れる必要があると思います。
 熱中症には注意してくださいね！

代表取締役社長 石崎 昭仁

東京防災へ

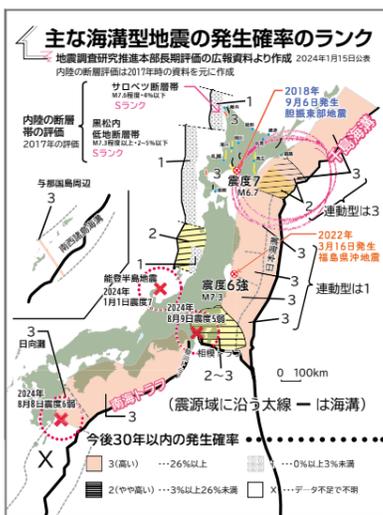
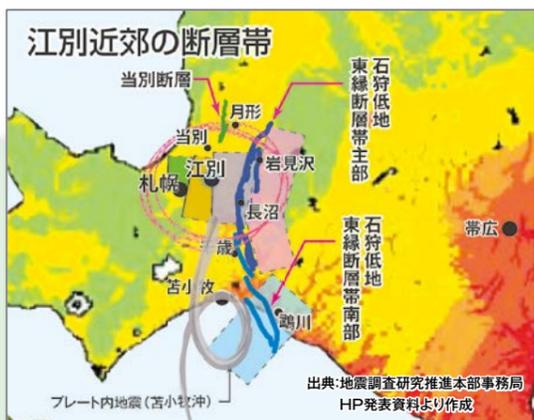


防災準備を
 始めましょ
 う！！

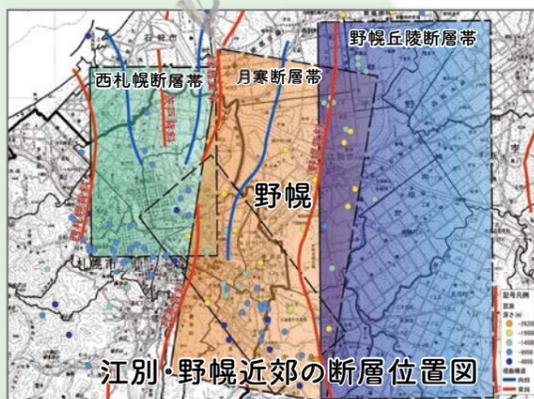
自然災害はいつ起きるかわからない！



防災資料掲載サイトへの
 リンクです。
 参考までに掲載します。



南海トラフ地震など本州、特に西日本では今起きてもおかしくない！と、地震対策について報道がされていました。最近北海道十勝沖など、十勝方面を震源とする地震が発生しています。地震は時間と共に災害の恐ろしさを忘れてしまうもので、北海道でも過去に大きな地震で何度も大変な被害にあっています。特に胆振東部地震はブラックアウトと言う前代未聞の事態に陥り、対策がゴテゴテになってしまった事を記憶しています。



あれから7年近くが経ち、みなさん！、防災対策はどの様になりましたか？。発電機を購入された方、大型のポータブルバッテリーを購入された方、常に水や食料品などを備蓄されている方、家族の集合場所の確認等、それぞれ何かしらの対策をされていると思います。特に持病をお持ちの方は薬などを多めに常備するわけにもい

かず、いざ災害が起きた場合どう対応したら良いのか？、持病をお持ちの方は、いつも通っているかかりつけ医に、対策などの相談をされてはいかがでしょうか？。

さて北海道は主に道東が地震発生多発地帯として有名です。千島海溝が影響している地震多発地帯です。しかし江別にも大きな野幌丘陵断層帯、月寒断層帯などがあります。(これは直下型の地震です。)以前札幌市では、冬場に直下型地震が起きた場合、約5000人の死者が出ると試算しています。全てが当てはまるとは言えませんが、2024年1月1日の真冬に発生した能登半島地震が、大きな教訓になると思います。能登の場合、建物の崩壊が大きく報道されていました。建物の崩壊は主に古い家屋の様にもうけられ、また建物の特徴として瓦屋根の住まいなどの崩壊が多い様にも見えました。瓦屋根は屋根の重量が重く、俗に言うトップヘビーと言う建物が崩壊しやすい形状です。現在の住まいは生活スタイル等が変わり、かなり耐震的にも優れた建物となっています。しかし冬場の地震は、建物の上に雪が積もっており、冬季の地震はリスクが大きくなると考えられます。

では、真冬に災害に見舞われた場合と、真夏に災害に見舞われた場合の違いについて比較してみました。
● 真夏と真冬で何が大きく違うか？…考えると外気温環境が大きく違い、この違いが全てです。

| | 真夏 | 必要な物・対策 | 備考 | 真冬 | 必要な物・対策 | 備考 |
|----|-------|--|--|-------|---|---|
| 気温 | 気温が高い | 扇風機・うちわ等暑さ対策 温度環境を整える必要がある。また脱水症状を防止する必要がある。経口補水液、スポーツ飲料等の用意。 | 停電した場合、食料品等は腐敗し保存は不可能。冷蔵庫にあるものから食べて行く。 | 気温が低い | 暖房機・防寒着、カイロ等 寒さ対策 寒さから来る低体温症を防ぐ物 例えば、段ボールなども使いかたにより有効な場合がある。 | 停電した場合、食料品は夏季とは違いすぐ腐らない。凍結により保存可能。冷凍できない物から食べて行く。 |

上記夏、冬の環境の中で共通して必要となる物は電気と水です。電気を作るためには発電機が必要となり、発電機で電気を作る為には通常はガソリンが必要となります。(大型発電機の場合軽油が必要となります。)まず電気をなんとかする事により、生活環境を整える事が可能となります。夏は熱中症、脱水症、冬は低体温症と各々の環境により対策も変わります。夏冬とも状況によっては、直接死につながる事もあります。全てを整える事は不可能ですが、できる事から環境を整える事が必要と思います。

以前にもご紹介しました、東京防災と言うサイトから、これは・・・と思う内容を抜粋したいと思います。新旧ありますが、旧の内容でご紹介します。(新では著作権の関係で許可がおりませんでした。)



基本は身を守り安全を確保してから避難する事が必要です。能登半島地震でも課題になったのが水、トイレ、防寒対策です。出来る限りですが、万が一の為に準備をしたいものです。

- ★ 生活用品
 大型ビニール袋は、給水袋やトイレの袋としても利用可能です。生活スタイルに合わせて、必要な物を用意しましょう。
- 生活用水 (トイレ用)
 - 持病の薬類
 - 救急箱
 - ティッシュペーパー
 - トイレシートペーパー
 - ウェットティッシュ
 - 生理用品
 - 使い捨てカイロ
 - ライター
 - ゴミ袋、大型ビニール袋
 - 簡易トイレ
 - マスク
 - ラテックス手袋
 - 懐中電灯
 - 乾電池
 - 携帯電話の予備バッテリー
 - 消毒用アルコール等

- ★ 震災を経験された方のご意見で重要と感じた物
- 水
 - カセットコンロ・カセットボンベ
 - 充電式などのラジオ
 - ビニール袋
 - スリッパ類
 - 食品包装用ラップ
 - 簡易トイレ
 - 防寒用具・毛布等
- ★ 簡易トイレの用意は、能登半島地震で再認識され、大きな教訓となりました。是非用意したい物品です。
- 建物が無事であれば、電気をなんとかする事により、生活をおくる事が可能になります。全てとは行きませんが、できる事から、準備をする様におススメ致します。



参考元となるサイトのQRコードを表記しますね！。こちらのサイトからスマホで読み込み内容をご覧ください



東京都防災アプリのQRコードです。ここからスマホにアプリをダウンロードしてご使用ください

参考グッズ

非常用持出袋
 45分
 ガス
 Iwatani
 Iwataniのストーブサイトへ
Iwatani
 Iwataniのカセットガスストーブ。電気を使わず温風が出るタイプ。カセットガス1本標準で約1時間40分、弱で約2時間30分暖房できます

高齢者の方は10Lなどの小型サイズが良いと思います。
 モバイルバッテリー等、電池式のラジオもあとと便利です

ガスストーブの場合 特に注意！！
 換気には十分注意してください